

読者プレゼント

抽選で5名様に

詳細はP8をチェック

2 特集

直面する人手不足

課題に合わせた効果的な取り組みを探る

7

表紙の人インタビュー

竹中 知華さん

アナウンサー

CONTENTS

4

新商品・開発秘話 ヒラメキの瞬間を聞く!!

「REVIAS・琉球もろみ酢入りアスリートカレー」有限会社レジスタ／「サンゴに優しい日焼け止め」ジーエリイー合同会社

5

世界が認めたウチナンチュ

ザ・ブセナテラス 料飲サービスグループ 知念 葉子 さん

6

ネットワーク会員 プレスリリース

株式会社東洋企画印刷／株式会社ざまみダンボール／ネットワーク会員募集中／第1回ビジネス交流会開催のお知らせ

7

OVS news 沖縄国際物流ハブ活用推進事業補助金

8

ネットワーク会員広場 元気企業ファイル ジョブマネ株式会社 / 海外レポート fromフィリピン / 読者プレゼント

<http://ovs.jp>



〒901-0152 沖縄県那覇市小禄1831-1
TEL 098-859-6237 <http://www.okinawa-ric.jp/>
発行：(公財)沖縄県産業振興公社



QRコードから、公社のウェブサイトへアクセスできます。



直面する人手不足

課題に合わせた効果的な取り組みを探る

全国的な課題となっている人手不足。ここ沖縄県も例外ではなく、人手不足に直面する企業が増えている。少子高齢化が進むなか、今後、14歳から64歳の生産年齢人口が減少していくことが見込まれており、早急な対策が必要だ。ここでは人手不足への対応策となり得る取り組みについてレポートする。



売り手市場となった沖縄で深刻化する人手不足

沖縄労働局が発表したデータによると、2019年8月の沖縄県の有効求人倍率は1.21倍。県内では2016年10月以降、有効求人倍率が1倍を超える状況が続いている。高い失業率と雇用の機会の少なさが沖縄経済の課題とされてきたが、雇用情勢は着実に改善している。一方で、建設業やサービス業、看護、介護、運輸業等、多くの業種において、人手不足が深刻な課題となっている。

中小企業庁の『人手不足対応ガイドライン』によると、全国的な人手不足の状況は全職種にわたって深刻化しており、特に中小企業では、大企業に比べて高い離職率が人手不足につながっているとされている。少子高齢化を背景に、この問題はこれからも続くと予測されているが、沖縄県でも2025年をピークに人口減少に転じるとの推計があり、早期の対策が欠かせない。

人手不足に対応するには、正規雇用化の促進や職場環境の改善により、人材確保や人材育成などが必要とされている。従業員が「この職場で働きたい」と思えるような待遇の改善や、ＩＴや設備の導入などによ

る生産性向上への取り組みも不可欠だ。

また、求職中の人に「ここで働きたい」と思わせる魅力的な企業であるための革新的な経営手法の導入や、その魅力を発信する力も求められる。

今回は人材確保の入り口となる採用に焦点を当てた新しい事業と、適正な勤務シフトを自動で作成するシステムを構築した企業の取り組みを紹介する。

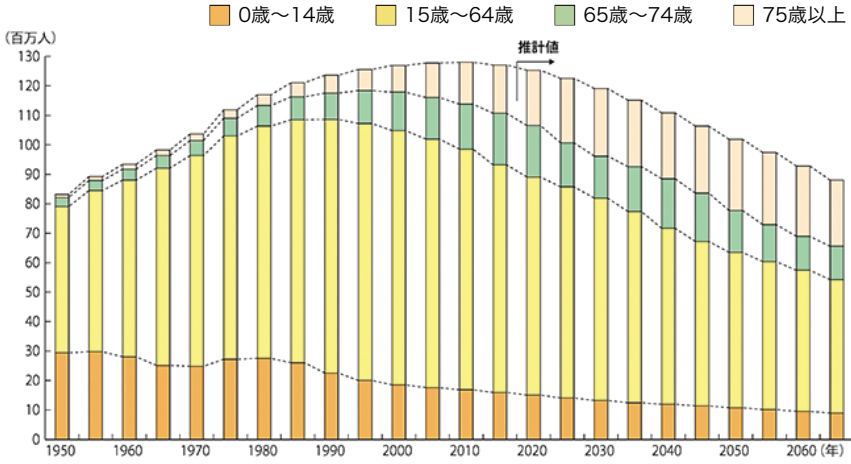
就労意識が高い人材を育て契約企業とのマッチングを行う

株式会社パラドックス・ブランディング

就職活動中の大学生が利用できるコミュニティスペース「Toposia」(トポセシア)場所を意味するギリシャ語」を運営する(株)パラドックス・ブランディング。同社は、企業が学生に直接アプローチするダイレクトリクルーティングという手法で、独自の採用システムを構築した。その仕組みと特長を事業責任者の寺地峻さんに伺った。

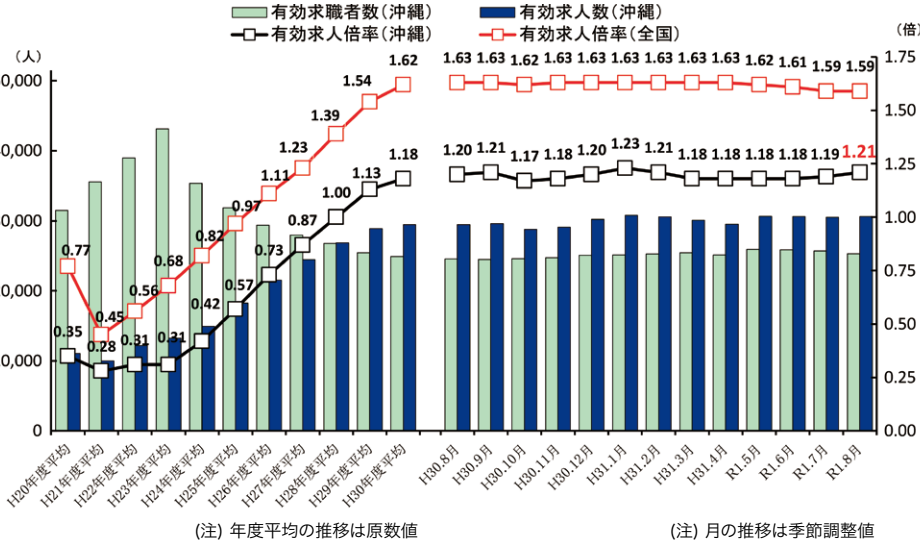
「トポセシアでは、就活中の学生向けに個人面談や自己分析の支援を行っているほか、働く意義や、やりがいについて深く追

■ 年齢別人口推計の推移



- (注) 1. 2016年以降は、将来推計人口は、出生中位(死亡中位)推計による。
2. 2010年までは総務省「人口推計」、2015年は総務省「国勢調査」(年齢不詳をあん分した人口)による。

■ 求人・求職及び有効求人倍率の推移



広告





トポセシアでは契約企業の企業説明会や学生向けのセミナーなど、さまざまなイベントが開催されている



今後も学生の利用者を増やし、キャリア支援を続けたいと語る寺地峻さん

株式会社パラドックス・ブランディング
宜野湾市我如古2-12-6 Topothesia
☎098-943-6260 <http://topothesia.jp>



琉球大学北門
すぐの場所にあるトポセシア

後も(株)パラドックス・ブランディングとの契約を続ける予定だと語る。

寺地さんは、ここに集う学生一人ひとりの志や特性をよく理解していて、契約企業が求める人材像と合致する学生のマッチングも行っている。

2015年にダイレトリクルーティング

「県外と比べて、在学中にインターンなどで就労感を学習する機会が少ないこともあり、何のために働くかという意識が低い人が多いと感じています。新卒採用者の3年以内の離職率は全国平均の約32%を上回る約40%と高いのも沖縄の特徴です(2018年 沖縄労働局調べ)。人生100年時代と言われる今、仕事をする目的や自分の将来の長期的なビジョンを明確にすることは、これまで以上に大切になってくると考えています」

求するセミナーなどを開催し、学生の就労意識の向上を図っています。そして、スポンサー契約を結んだ企業の採用担当者が、トポセシア内で企業説明会を行ったり彼らと直接交流し、お互いに理解を深めながら採用につなげるという仕組みを作りました」

寺地さんは琉球大学大学院出身で、県内の大学生の就活状況や志向にも詳しいが、沖縄の大学生の就労意識について、次のように説明する。

サービスを開始して以来、学生の利用者数は年々増加し、現在では年間550名ほどの就活生が利用、契約企業は年間で約30社にのぼっているという。

契約企業の一つで、3年前からダイレトリクルーティングによる採用を始めた宜野湾市のIT企業、(株)プロトソリューション・管理部人事の松村賢さんに、その成果について伺った。

「新卒者を一気に50名ほど採用していた時期もありましたが、3年以内に離職する人もいたため、少数精鋭の採用に切り替えました。ちょうどその時期に寺地さんとの出会い、契約を結んだんです。トポセシアで出会う学生は仕事に対する意識がとても高く、何度も対話しながら、お互いに理解を深めることができました。また、こちらの要望を寺地さんがヒアリングして、適切な学生とのマッチングをしてくれたのもありがたかったですね」

ダイレトリクルーティングで採用したのは2019年度が2名、来年度は3名が内定しているという。すでに企業の一員として働いている2名は意欲的に仕事に取り組み、入社後の成長スピードが驚くほど速いそうだ。この採用システムに大変満足しているという松村さんは、今後(株)パラドックス・ブランディングとの契約を続ける予定だと語る。

適切な働き方と 有休取得を支援するシステムを開発

株式会社ワーク・ライフ・バランス企画

AI(人工知能)を使って勤務シフトを作成するシステムを開発し、2018年に設立された(株)ワーク・ライフ・バランス企画。休暇の取りやすさは、多くの労働者が企業に求める条件の一つだが、仕事の内容によっては複雑な勤務シフトが生まれ、希望する日に休暇が取りにくい場合が少なくない。また、シフト表を作成する労務管理者にとっても、最適なシフトを組むための負担が大きいことも課題とされている。

これらを解消するのが、同社のシステムだ。その特長を代表の宮内明さんは次のように説明する。

「依頼された企業の業務内容や担当者の人数、役職のバランス、希望する休暇日などの条件を細かくヒアリングし、最適なシフトを提案します。長期の連続勤務を避けたり、適切な休憩時間が確保されているかなども考慮したシフト表が自動で作成できるのが特長です。今年4月から、全企業で年次有給休暇の付与が義務づけられましたが、このシステムだと、従業員が希望する有給休暇をプログラムに設定することで有休取得を計画的に管理することも可能です」

宮内さんが開発した年次有給休暇の管理と勤務表作成を連携させた独自の計算式は、ソフトウェア特許を取得しているそうだ。現在、同社では、システムの導入と運用を完全サポートし、勤務表作成の外部委託という形で、各企業の細かい要望に応じている。システムの活用で働きやすい職場環境を維持し、従業員の離職防止につながることを期待していると宮内さんは語る。

現在、同社では県内の10社ほどのシフト作成を行っているが、いち早く、勤務シフト作成を依頼した全保連(株)審査本部の比

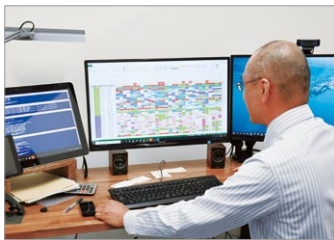
嘉彩子さんは、その効果について次のように話してくれた。

「私が所属する審査本部は、家賃保証に関する申し込み内容確認・審査を行っており、約100名が在籍しています。個人審査や法人審査、審査事務、審査企画の4つの課があり、1日に1500件前後の申し込みに対応しています。

これまでは、各課1名ずつの担当者が、日常の業務を終えてから手作業でシフトを作成していました。従業員の習熟度のバランスを考慮し、労働基準法で定められた労働時間や休日を守るシフトを組む作業はとても複雑で、約30名の1カ月のシフト表を作成するのに約20時間もかかっていたんです。ワーク・ライフ・バランス企画さんに



自動で何百通りものシフト勤務表を作成し、条件に合った最適のものを選び出すことができるシステム。今後、システムの簡易版を販売することも視野に入れているという



沖縄全体の有休消化率の改善を目標に掲げ、現在、一人で会社を運営している



IT関連企業勤務を経て、理学療法士として沖縄の総合病院に勤務。病院の勤務スケジュールを作成したのを機にシステムを開発した宮内明さん

株式会社ワーク・ライフ・バランス企画
那覇市銘苅2-3-6 那覇市IT創造館203
☎098-943-4782
<https://wlbproject.org>



◇ ◇ ◇

依頼してからは、その時間を約6時間までに削減できました。さらに、個人が希望する日に休暇が取れるシステムなので、皆、とても喜んでいきます。

また人員や業務に急な変更があっても、電話とメールだけですぐに対応してもらえるので助かっています。こちらの要望に親身に寄り添ってくれるだけでなく、適切なアドバイスもいただけるので、ありがたいですね」

県外・県内研修事業助成金

人手不足の対応策として 活用できる制度

正規雇用化に取り組む企業の スキルアップを応援!!

従業員のスキル習得や資格取得等を目的に、県内または県外で従業員研修を行う際の旅費・宿泊費の一部を助成しています。正社員への転換や人材育成をお考えの方は、ぜひ下記までお問い合わせください。

【助成内容】

- (1) 助成対象経費:研修期間中の宿泊費、研修地への旅費
- (2) 助成額:助成対象経費の4分の3の額(限度額あり)
- (3) 助成対象期間:連続した5日以上(の研修(～令和2年1月31日まで))

【主な助成対象要件】

雇用期間が6ヵ月以上の非正規従業員を正社員へ転換する取り組みをしている法人

【問い合わせ】

公益財団法人沖縄県産業振興公社
産業振興課 正規雇用化企業応援事業
担当/山城・呉屋・富川
☎098-859-6239

その他の要件等はHPで確認ください。
<http://okinawa-ric.jp/news/entry/10826.php>



新商品・開発秘話

ヒラメキの瞬間を聞く!!

新商品誕生のヒラメキの瞬間。それはいつ、どのようにやってくるのだろうか。発想法や商品化の経緯を聞き、商品開発の秘訣を学ぶ。

スポーツ×地域資源の活用で
これまでになかった商品を生み出す

『REVIAS(リバイアス)』 『琉球もろみ酢入り アスリートカレー』

有限会社レジスタ

ウェアにスポーツドリンク
そしてアスリートカレーへと進展

沖縄の伝統工芸とスポーツのコラボレーションで、2017年に新しいスポーツウェアなどを生み出したプロジェクト『OKINAWA CRAFT LABO(オキナワ・クラフト・ラボ)』。このプロジェクト



2018年のモンパチフェスでテスト販売し、好評を博した『琉球もろみ酢入りアスリートカレー-TAKA CURRY OKINAWA S.V.』



スポーツドリンク『REVIAS』を、台湾でプロモーション中

トはサッカー元日本代表選手の高原直泰さんが代表を務めるサッカーチーム『沖縄SV(エスファウ)』と大高商事(株)が手を組んで誕生したもので、スポーツウェアのほか、アスリート向けのスポーツドリンクも開発している。これらの誕生のきっかけを同社社長の中村裕二さんはこう振り返る。

「スポーツを新たな産業にするという国の施策と沖縄を結びつけた時に、ここでしか作れないものは何だろうと考えました。そして沖縄に根づく伝統工芸や、優れた地域資源を活用すれば、世界のどこにもない魅力的な商品ができると確信しました」

スポーツウェアと共に開発したのが、スポーツドリンク『REVIAS(リバイアス)』だ。これは沖縄の天然素材を使ってアスリートをサポートする食品を作りたいと考えた中村さんが琉球もろみ酢に着目して商品化を進めたもの。クエン酸やアミノ酸を多く含む疲労回復効果が高いもろみ酢に、県産シークワーサー果汁や黒糖などを加え、機能性と爽やかな飲み口を両立させた。

開発から2年を経た現在、このドリンクは進化を続けているという。スポーツビジネス推進のために中村さんが立ち上げた会社、(有)レジスタのマーケティングディレクター・青田美奈さんは、『REVIAS』の新展開について次のように語る。



青田美奈さん。長年にわたってオリンピック関連の業務などに従事してきた経歴を生かし、今後もスポーツビジネスの活性化に力を入れていくと語る

有限会社レジスタ
那覇市曙2-14-13
☎098-917-6454
<https://regista-okinawa.com>



多くの人が気づく機会を
ビジネスを通してつくりたい

サンゴにダメージを与えない『サンゴに優しい日焼け止め』を開発・販売している

『サンゴに優しい 日焼け止め』 ジェーエリー合同会社

沖縄のきれいな海が大好き
サンゴを守りたい一心で商品開発

すでに、スポーツ会場などにキッチンカーで出向いて販売しているほか、レトルトカレーの商品化も進めているそう。スポーツと沖縄の地域資源のコラボという新しい視点で、これまでになかった魅力的な商品を次々と生み出している。

「今も、毎日トップアスリートの方々に飲んでいただいています。よりスポーツシーンになじむようゼリー状の商品を試作中です。完成したら全国はもとよりアジアに向けてもプロモーションします。また、スポーツ大会などにふさわしい健康的なランチを作りたいという要望に応え、新たに『琉球もろみ酢入りアスリートカレー-TAKA CURRY OKINAWA S.V.』も作りました。もろみ酢の疲労回復効果はもとより、著名なカレーのレシピ集団が監修した本格的なおいしさが好評です」

「初めて聞いたこの言葉に驚き、調べてみたところ、日焼け止めに含まれる成分がサンゴに悪影響を与えていることを知ったという。沖縄生まれで沖縄の海が大好きな呉屋さんは、海を楽しむ人が激増したことなどにより、自分が知っている20年前の沖縄の海の美しさが損なわれたことに不満を持っていたそう。『日焼け止めを使うことで、気づかないうちに自分もサンゴを傷つけていたと知り、ショックを受けました。これは何とかしなければという一心で動き始めたんです』

その時、すでに月桃を使った化粧品を開発・販売する会社を立ち上げていた呉屋さんは、海洋生物にダメージを与えない商品を作るために調査を開始。クラウドファンディングでサンゴ保全の大切さを訴えながら協力を呼びかけ、250人もの人から支援を受けて商品化に成功した。

完成した日焼け止めは、高い紫外線カット効果があるのはもちろん、鉱物油や防腐剤などを使っていないので、人の肌にも優しいのが特長だ。

その後は商品の販売にとどまらず、サンゴ保全について多くの人に知ってもらうために、シンポジウムやセミナーでのスピーチなども積極的に行っている。

「アウェアネス(気づき)を与え、人々にアクションを起こしてもらう事業に取り組みたいと思っています」という呉屋さん。次の目標は海ゴミをなくすことで、ボランティアなどに頼っているビーチクリーン活動を、ビジネスとして成立させるための仕組み



現在、同社の従業員は3名。「働きやすい職場づくりや、SDGs(持続可能な開発目標)にも取り組んでいます」と語る呉屋由希乃さん

ジェーエリー合同会社
那覇市松尾1-21-61-202
<https://www.coralisfriend.com>



天然由来の成分のみを使用した『サンゴに優しい日焼け止め』

「サンゴに優しい日焼け止め」を5名様にプレゼントいたします。詳しくは8ページをご覧ください



手軽に使ってもらえるよう、7グラム入りの使い切りタイプも発売



さまざまな分野で世界にチャレンジしている、ウチナンチュ。それぞれの分野の世界大会への出場を実現させる力は、どのようにして生み出されたのか。その実力はビジネスにおいて、どのような好影響をもたらしているのかを探る。

ワールドクラスの実力で新時代を切り拓く

世界が認めたウチナンチュ

世界に通じる沖縄のおもてなしの心 さらなる高みを目指して学び続けたい

ザ・ブセナテラス **知念 栞子**さん

第45回技能五輪国際大会ロシア連邦・カザン大会レストランサービス部門に日本代表として出場

職場の多くの方々からの協力を得て 国際大会への出場を果たす

今回紹介する知念栞子さんは、ザ・ブセナテラスの料飲サービスグループで腕を磨き、2018年11月に沖縄県で開催された技能五輪全国大会に県代表選手として出場。見事金メダルを獲得し、隔年で開催される技能五輪国際大会への切符を沖縄県勢として初めて手に入れた。

そして2019年8月「第45回技能五輪国際大会ロシア連邦・カザン大会」のレストランサービス部門に日本代表として出場した。62におよぶ国と地域から1348名が参加し、レストランサービス部門では33名が技を競い合ったという大会。競技内容や出場までの取り組みを知念さんに伺った。

「国際大会では、4日間でカジュアルレストランやバーなど、4つの異なるシチュエーションで競技が行われ、料理やお酒の提供をはじめ、客席での料理の仕上げや切り分けなどの技術を競いました。

技能五輪全国大会の出場前は、職場の多くの方々から協力をいただきました。また、



技能五輪国際大会ロシア連邦・カザン大会の一コマ。国際大会では、客席での料理の仕上げや切り分けといったサービスも競われる

国際大会は県内では誰も経験したことがないため、上司が出場経験者の方を県外から招いてくださって、貴重なアドバイスをたくさんいただきました」

知念さんの上司で、料飲サービスグループのグループリーダーを務める比嘉洋さんは、サポートについてこう振り返る。

「技能五輪のレストランサービス競技に出場する選手の育成専門員として、3年ほど前から指導にあたってきました。今回は初の国際大会出場とあって、スタッフのよい刺激にもなる上、スキルアップにもつながると考え、外部のプロの方を含め、スタッフが全力でサポートしました」

そう語る比嘉さんは、HRS1級サービス技能士（レストラン関係者の地位、スキルの向上を目的とする国家検定制度）の資格を有するベテランだ。しかしその座に甘んじることなく、自らも熟練の技能を競う技能グランプリに出場しているという。

「指導者として、さらなる技術の向上を目指して出場しましたが、日々の仕事を見つめ直すよい機会になりました」と比嘉さん。

技能五輪で学んだ技術を 後輩に伝えていくのが使命

国際大会への出場で多くのことを得たと知念さんは笑みをたたえる。



職場の仲間からの応援メッセージが書かれた日の丸を持って、指導にあたった比嘉さん（右端）も現地に同行した



人と接するのが大好きという知念さん。お客様との自然な会話を楽しんでいるそう

「日本のおもてなしと国際基準のサービスの違いに驚きました。例えば、日頃の業務では丁寧さを心がけていますが、国際基準では、それよりもスピーディであることが求められます。また、例えば食事中にナイフを落としたお客様への対応も、日本ではさりげなく新しいナイフを用意しますが、海外では逆にお客様にアピールしてから対応するといった違いがあるんです」

審査の結果は、33名中の27位。世界基準に合わせる技術が不足していたことが原因と知念さんは言うが、実際にサービスを提供したお客様からはとても喜ばれたそう。

「国際大会に上司の比嘉さんも来てくれたのでリラックスでき、いつも通りの笑顔で競技に臨めました。ふだんと変わらない日本のおもてなしの心が世界に通じることが分かって、嬉しかったですね。」

この経験で、技術はもとより、常に笑顔を保つことや、お客様の立場に立つてサービスを提供することの大切さに、あらためて気づくことができました。自分が学んだ多くのことを、今度は私が後輩に伝えていきたいと思っています」と、知念さんは意欲を燃やしている。



知念栞子さんは1997年南城市生まれ。高校卒業後、沖縄ポリテクカレッジ（沖縄職業能力開発大学校）ホテルビジネス科に進学。2018年ザ・ブセナテラスホテルズ（株）に入社



心強い指導者の比嘉洋さんと。毎日の業務をこなしながら大会に向けた訓練を続ける知念さんを、職場全体でサポートした



2018年に沖縄で開催された技能五輪全国大会で獲得した金メダルと盾。国際大会への出場は、「日本一」の座に満足することなく、さらなる成長を目指すよい機会となったという



ザ・ブセナテラス

名護市喜瀬1808 ☎0980-51-1333
<https://www.terrace.co.jp>



公社ネットワーク会員 プレスリリース

ダンボールや事務機・文具・紙製品など 必要な商品を適正な価格で提供します

弊社では「県産品を心で包むお手伝い・お客様の事務効率を推進するお手伝い」の心をモットーに、ダンボールの製造・販売、また民間企業や官公庁へ事務機・文具・紙製品の卸販売を行っています。

「お客様が必要なときに必要な商品を適正な価格で提供する」姿勢を基本とし、日々営業活動をさせていただいております。

那覇市久茂地にある店舗では、紅型など特殊な和紙や建築用模型材料なども取り扱っております。見学だけでもご来店お待ちしております。

株式会社ざまみダンボール
☎ 098-992-2250
(担当: 宮城・新屋)
<http://www.zamami.co.jp/>



2020年版／情報満載の沖縄ダイアリー 癒やしの島風景カレンダー

■毎年売れになる人気の沖縄ダイアリー

うちな〜んちゅ必須の旧暦行事や記念日、潮の満ち引きの時刻等、多くの方に活用して頂ける情報が満載です。仕事の打合せや習い事等、忙しいアナタを応援します。(A5版 256ページ 1,300円+税)

■とっておきの島風景カレンダー

美しい島風景を眺めながら自然の雄大さを堪能できる大好評のカレンダー。飾るだけで癒やし効果抜群。透き通った海と青い空による絶景をお届けします。お世話になった方へのプレゼント、お取引先への贈答にも。(A2版13ページ 1,000円+税)



株式会社東洋企画印刷
☎ 098-995-4444(担当: 真喜志)
<https://toyo-plan.co.jp>



(公財) 沖縄県産業振興公社ではネットワーク会員を募集しています。特典の一つとして上記プレスリリースの無料掲載があります。情報紙として毎号約16,000部、年4回発行で、県内企業や事業者、一般県民など多くの方に読まれています。ぜひ自社PR等にお役立てください。ほか特典メニューもご用意。詳しくは<http://okinawa-ric.jp/useful/etc/4380.php>まで。担当: 砂川

～お手軽料金で経営に役立つ公社の会員制度～



ネットワーク会員募集中! 年会費12,000円

「企業人材を育成したいが、費用がかかり時間も無いため、育成が難しい」、また、「自社の製品をPRしたいが、その手段がない」など、お悩みをお持ちではないでしょうか?

(公財) 沖縄県産業振興公社では、中小企業の支援を拡充・強化するため、セミナーや講演会の受講料割引、公社ウェブサイト広告割引などを利用していただき、経営の安定化を図るため、「公社ネットワーク会員」を募集しています。

年会費は12,000円。会員への加入は随時受付しておりますので、貴社の人材育成、会社・商品・サービスPRのツールとして、是非ご活用ください。ご入会をお待ちしております。

(公財) 沖縄県産業振興公社 経営支援課
☎ 098-859-6237 (担当: 砂川・鉢嶺・平) <http://okinawa-ric.jp/useful/etc/4380.php>



ネットワーク会員へのサービスおよびメリット

- ① 有料セミナー・研修の受講料割引
ネットワーク会員は割引料金(非会員5,000円の受講料→会員3,000円)で受講できます。
- ② 特別講演会の無料案内
年1回、著名な講師をお招きし、経営に役立つ講演会および交流会を開催します。ネットワーク会員の参加は無料です。
- ③ 会員向けの異業種交流会
会員企業間の情報交換およびビジネスマッチングの場として、異業種間の交流会を実施します。
- ④ 公社ウェブサイト広告の掲載料割引
公社ウェブサイト広告(バナー広告2タイプ・1行広告)掲載料金の割引(20%off)が受けられます。
- ⑤ 公社メールマガジン広告の掲載料割引
毎週木曜日、公社から最新のセミナーやイベント、助成金等の募集情報を県内ビジネスパーソン向けに配信するメールマガジンへの広告掲載料金の割引(20%off)が受けられます。
- ⑥ 情報紙・情報紙サイトへのプレスリリース掲載
公社の情報紙「沖縄ベンチャースタジオ」(年4回発行)会員プレスリリースのコーナーで、新商品・サービスの紹介を無料で掲載できます。



～出会いなくしてチャンスなし～

第1回 ビジネス交流会

多くの異業種の方にも出会え、情報交換はもちろん、異業種ならではの新鮮な考え方、常識の違いなど、新しい刺激があなたのビジネスを変えるかもしれません!

(公財) 沖縄県産業振興公社の新しい取り組みとして、ビジネス交流会(異業種交流会)を開催いたします!

今回は人材定着についてのセミナーと交流会を予定しており、楽しく交流できる内容になっています。ビジネスマッチングなどの機会として、ぜひ奮ってご参加ください。

【日 時】 2019年11月7日(木) 18:30～20:30
(受付時間: 18:10～18:30)

【進 行】 ① 18:30～19:00(セミナー)
② 19:00～20:30(交流会)

【場 所】 那覇市小禄1831-1
沖縄産業支援センター1階 102号室

【参加料】 2,000円/1人様(飲食代)

【お問い合わせ・申込】
(公財) 沖縄県産業振興公社 経営支援課
担当: 鉢嶺・砂川 ☎ 098-859-6237
<http://okinawa-ric.jp/news/seminar/11282.php>



広告



1982年生まれ。広島県呉市出身。広島の大学を卒業後、青森朝日放送アナウンサーなどを経て、NHK沖縄放送局のキャスターとしてニュース番組などを担当。現在、ラジオ沖縄アナウンサーとして、「パルンともかのうふふのふ!!」「ユーグレーションタイムチョイス!!」などに出演している



<http://takenakatomoka.com>

竹中 知華さん

株式会社ラジオ沖縄 アナウンサー



表紙の人
INTERVIEW

現場に行けない人が
その場にいるような気持ちになれる
そんな語り手を目指して沖縄で頑張ります



マイク片手に取材に奔走し、お祭りなどに出向く機会も多い。「各地の青年会で活動する大人に憧れる子どもたちがたくさんいるのが、沖縄の素晴らしいところですね。伝統を守ろうとしている熱い人たちを見ると、とても心躍ります」

NHK沖縄放送局のキャスターを経て、フリーアナウンサーとして活躍してきた竹中知華さん。現在は、(株)ラジオ沖縄のアナウンサーとして、毎日、明るい声で沖縄の地域に密着した情報を伝えている。広島県出身の竹中さんは、アナウンサーを目指した動機について、次のように教えてくれた。

「広島の大学に通っていた時、地元のイベント司会者に憧れ、アナウンサー教室に通い始めたのがきっかけです。就職の際、各地の放送局の試験を受け、合格した青森朝日放送に入社しました」

青森の職場で先輩に言われたことが心に残り、『伝える』仕事を続けたいと強く思ったそう。

「弘前城の桜祭りの中継をした時、『外に出られない人たちのために伝えるようにしろ。毎年、桜を楽しみにしていた人が、何らかの事情で今年は祭りに行けず、悲しい思いをしているかもしれない。そういう人に現場の様子を届ける思いでやれ』と言われたのが、ずっと心に残っています。放送を聞いている人たちが、その場にいるような気持ちになれる、そんな語り手になりたいと思い、この仕事を続けています」

県外出身の竹中さんには、沖縄で仕事をするうえで、常に心がけていることがあるという。

「沖縄には、地元の人には分からないことがたくさんあることを忘れてはいけないと思っています。想像力を働かせることも重要ですが、私は県外出身なので、分からないことがあるかもしれないと伝えてから取材にあたるようにしています。そうすると、相手の方も私にでも分かるように説明してくれるのありがたいですね」

日々、企業の経営者をはじめ沖縄の人たちにインタビューをして交流を深めている竹中さんに、ビジネスパーソンへのメッセージをいただいた。

「苦手だなと思うような仕事でも、自分らしさを加えることで愛情がわいてくると思っています。たくさんプロの力がまとまったとき、沖縄はもっと盛り上がると思うので、お互い頑張りましょう！私も、おばあちゃんになっても沖縄で伝える仕事をしたいです。人に活力を与えられる伝え手になれるよう頑張ります」

OVSnews

沖縄国際物流ハブ 活用推進事業補助金(海外展開支援事業)のご紹介

海外展開を検討中の県内事業者のみなさまへ！

沖縄県産業振興公社では沖縄県産品の海外販路拡大を図るため、県内事業者の海外展開をサポートする支援メニューをご用意しておりますので、ぜひご利用ください。

海外での商談・展示会に！

海外渡航支援 《年間活用件数NO.1》

県内事業者が海外で商談をしたり、展示会、物産展に参加したりする際に活用できる支援メニューです。

【補助内容】

海外への渡航費(沖縄県内発着の航空券代・宿泊費)の一部を定額補助します。

【対象期間】

2019年4月1日～2020年2月29日

海外バイヤーを沖縄に呼びたい！

海外流通事業者招聘支援

県内事業者が主に商談を目的として、海外バイヤーを沖縄へ招聘する際に活用できる支援メニューです。

援メニューです。

【補助内容】

海外バイヤーの渡航費(航空券代・宿泊費)の8割を補助します。

【対象期間】

2019年4月1日～2020年2月29日

海外向けの商品改良に！

商品改良支援

県内事業者が、自社既存商品の海外展開を図るため、パッケージデザイン変更や、輸出先の規制に対応する為の成分分析等検査を行う際に、活用できる支援メニューです。

【補助内容】

自社既存商品に関するデザイン変更費、成分分析費等の5割を補助します(上限あり)。

【対象期間】

2019年4月1日～2020年2月29日

今年度から全世界対象に！

その他支援

「海外販売促進支援」、「輸出拡大人材育成支援」、「海外輸出促進支援」や「戦略的輸出拡大支援」等の支援メニューもありますが、各メニューともに補助対象となる業種、補助対象期間、補助対象項目、補助金額上限、補助率、その他条件等が異なります。

また、一部の支援メニューは、従来対象としていたマレーシア・シンガポール・タイ・中国・香港・マカオ・台湾・韓国市場に加えて、今年度より全世界が補助対象地域となりました。詳しくは下記HPの各支援メニューページをご確認いただくか、窓口までご相談ください。



パンフレット
配布中！

宏信株式会社 唐社長のコメント

弊社のような中小企業は、海外展開にかけられる予算が限られているため、このような補助金は非常に助かります。特にバイヤー招聘支援は、助かっています。沖縄県産品は海外では知名度がなく、製造コストが高いため、バイヤーを何度も沖縄に招聘して、県内メーカーを1社1社回り、商品の付加価値を沖縄の歴史・文化・自然環境を絡め時間をかけて説明しています。バイヤーは生産者との交流や商談・視察の間に実際に触れた沖縄の観光地・文化・食の体験によって、県産品の優位性・コストが高い理由を理解し、心から応援したいと思ってくれるようになったことで、最終的に商品の取り扱いに繋がりました。今後の要望としては、海外展示会向けの新商品開発に係る試作品制作の補助、試食・試飲費用やイベント用商品輸送の運賃サポート等があればありがたいです。



H30年度宏信株式会社が「海外販売促進支援」メニューを活用し、中国(広州)で物産展を開催した

【問い合わせ】

(公財)沖縄県産業振興公社

☎098(859)6238

☎098(859)6238

那覇市字小塚1-831番地1(沖縄県産業振興センター4階)

E-mail: okinawahub@okinawa-ric.or.jp

<http://okinawa-ric.jp/news/information/1176.php>

担当者: 波嘉敷・仲嶺真・比屋根・

龍(りゅう)・邱(きゅう)



【海外展開】 県内企業の海外展開に関する各種支援を行っています。ご相談・お問い合わせは随時受付中！



ネットワーク

会員広場

沖縄県産業振興公社ネットワーク会員企業の中で、新商品情報やユニークな商品・サービスを開発するなど、独自の取り組みで「オンラインワン」を目指す企業をご紹介します。講演会・懇親会の企画などを発信します。



ジョブマネ株式会社 中小・ベンチャー企業向けのクラウドサービスで 非効率を解消し、働き方改革を促進させたい

顧客管理と売上管理ができるシステムを開発・販売しているジョブマネ(株)。2017年に同社を設立した代表取締役の小林康裕さんに、システムの特長を聞いた。

「開発したのは、中小やベンチャー企業向けのクラウド型売上管理システム『ジョブマネ』です。これは、社内で各担当者が個別に管理しているさまざまな情報をクラウドで一元管理するもの。スケジュールの登録や商談の日報作成、顧客管理や売上・利益管理ができるうえ、見積書や請求書などの帳票作成が簡単に行えます。リアルタイムで情報を共有できるので、業務の効率化が図られ、労働生産性を大幅に向上させられます」

システム開発の経緯を小林さんは次のように語る。

「2000年にマーケティング会社を起業しました。当時はさまざまなデータをエクセルで管理していたのですが、情報を共有できるシステムがあれば便利だと気づき、自分たちのために社内で作ったのが始まりです。外部からの評判も良く、これを専門的に手がけるために2年前にジョブマネ(株)を設立したんです」

現在、同社には全国から月に100件近くの問い合わせが寄せられるそう。県内でも20社ほどが利用しているが、もっと多くの企業に使ってもらって、働き方改革につなげて欲しいと小林さんは言う。

「ジョブマネを導入すれば、どこにいてもパソコンやスマホ、タブレットを介して情報を共有できるので、会社にいるのと同じように自宅で働くことも可能になります。また時間のロスを具体的に説明すると、例えば過去の資料を探すため



現在、従業員は8名。新卒採用も行い、県内の若く優秀なスタッフとともに、さらなる成長を目指している

クラウドの導入率は全国的に見てもまだ低く将来的に大きな可能性が期待できるため、新たなシステム開発にも余念がない



代表取締役の小林康裕さん。1974年東京都生まれ。大学卒業後、広告代理店勤務を経て2000年に起業。クラウドサービスの企画・開発・販売のほか、ベンチャー企業のマーケティングコンサルティングも手がけている

ジョブマネ株式会社

那覇市安里 1-8-4 ZORKS 崇元寺
☎ 098-987-0213 <https://jobma.jp>



クラウドが主流になる時代はすぐそこまで来ていると、小林さんは熱く語る

沖縄経済を進化させるメディア
沖縄ベンチャースタジオ

沖縄ベンチャースタジオ 検索

<http://ovs.jp>

読者プレゼント

アンケートに答えて県産品を当てよう!!

下記のQRコードから、アンケートにお答えください。
抽選で5名様に県産品をプレゼントします!

アンケート

- Q1 今号をどこで入手されましたか?
Q2 面白かった記事はなんですか?
Q3 今後、沖縄ベンチャースタジオで取り上げてほしい内容はありますか?
Q4 沖縄ベンチャースタジオへのご意見・ご感想などをご自由にお書きください。

応募締切: 2019年12月20日(金) 必着

応募方法

QRコードを読み取り、必須項目をご入力の上、ご応募ください。

- ご応募は1回のみとさせていただきます。
- プレゼントの発送をもって発表と代えさせていただきます。
- 個人情報はプレゼントの発送のみの情報として使用いたします。



今月のプレゼント

サンゴに優しい日焼け止め(7g入り)



ジーエルイー合同会社

今号4ページで紹介したジーエルイー合同会社から『サンゴに優しい日焼け止め(7g入り)』を5名様にプレゼントいたします。天然由来の成分で作られているので、サンゴだけでなく人の肌にも優しいのが特長です。手軽で便利な使い切りタイプ。

タブロイド判

沖縄ベンチャースタジオ 59号

2019年10月23日発行

発行: (公財)沖縄県産業振興公社 ☎ 098-859-6237
<http://ovs.jp>

編集: 光文堂コミュニケーションズ(株) ☎ 098-889-1131

本紙についてのご意見・ご感想、広告掲載に関するお問い合わせは
ovs@okinawa-ric.or.jp まで「情報紙について」の件名を入れて送信して下さい。

※非売品につき有償での譲渡および転売を一切禁じます

海外REPORT



マカティ市の摩天楼。60階を超える超高層マンションも珍しくありません



from マカティ市

【沖縄県フィリピン委託駐在員 屋良 朝彦】

フィリピンの委託駐在員の屋良朝彦と申します。フィリピンで不動産業や飲食業を起業して30年余になります。

フィリピンは年間を通して温暖で平均気温は26.5度、季節は乾期と雨期。国土面積は日本の約8割の島国で、人口は1億人超で世界12位の人口大国です。90%以上がキリスト教徒。平均年齢は23歳と非常に若いです。GDPは日本の7%ほどで、国家予算は約8兆円。ここ数十年6%余の経済成長を継続中。これがアジアで最も有望国と言われるゆえんです。

食文化では、ラーメン、寿司を中心に日本料理が深く浸透しており、モダンカルチャーでは、アニメにコスプレが人気です。日本人留学生が増加している他、現地の日本語学校の増加に合わせ、日本への技能実習生や介護福祉士候補生も増えています。合わせて、今年になって在留資格に特定技能14業種が追加されるなど、両国の文化交流、人材交流は深化の一途をたどっています。

さて、フィリピン経済に目を転じてみると、マカティやその近隣都市では、不動産、地価の高騰が著しく、40階超のマンション建設が目白押しです。失業率は5%~7%と高いながら、アジアの英語力を活用した海外出稼ぎ労働者による本国仕送り額は毎年GDPの10%に達しており、雇用の安全弁としての海外就労が、結果的にフィリピンの経済のかさ上げに貢献しています。また慢性的な交通渋滞を緩和すべく、今年初頭に日本の円借款により、フィリピンで初となる「メトロマニラ地下鉄」工事が着工。外資の小売業参入規制のなか、日系では初めて「三越デパート」が進出を決め、2021年のオープンを目指して建設中です。

ところで、外務省によると、フィリピンから日本への観光客数はここ6年で6倍、50万人超になりました。これはも

ちろん、日本への入国ビザの要件緩和によるものですが、フィリピン経済の成長、そして日本の風土や文化の魅力がそれを後押ししているのでしょう。

一方、観光客の誘致のために、沖縄県の観光団体が毎年のようにマニラで観光博に出展しておりますが、沖縄⇄マニラ間に直行便がないこと、また沖縄の観光地としての知名度はこれからで、沖縄を訪れるフィリピン人観光客は少数に留まっています。また泡盛や沖縄そばなど県産品の販売はまだまだといったところです。人的交流としては、マニラで新たに沖縄県人会連合が発足、そして介護福祉士候補生などの派遣が組織的に進められており、ビジネスや人材交流の発展が大いに期待されます。

今後の課題として、やはり、沖縄⇄マニラ間の直行便、それもより安価なLCCの就航誘致が急務です。同時に日系の小売グループのさらなるフィリピン進出及び活用が、県産品を含む日本製品の販路拡大には必須でありましょう。また、人的交流を推進し、沖縄の知名度アップに「空手」を活用するなど、沖縄の強みを生かした宣伝方法を模索する必要があると思います。



マニラSMXにて開催されたトラベルマッドネスに出展した沖縄ブースに集う県人会連合の面々(7月7日)



那覇空港に到着したフィリピン人介護福祉士候補生が歓待を受けました

【問い合わせ】海外・ビジネス支援課 担当:外間 ☎ 098-859-6238

